

新潟市新津鉄道資料館活性化基本計画（案）に対する パブリックコメント手続きの実施結果について

本市に息づく鉄道文化を市民の誇りにするとともに、新津鉄道資料館リニューアルにより楽しさと懐かしさを織り交ぜた新たな魅力を創造し、全国に向けて発信力のある鉄道資料館づくりを目的とする「新潟市新津鉄道資料館活性化基本計画」（案）をまとめました。

この計画に対する市民の皆さんの意見を募集し、結果を整理しましたので公表します。
なお、個々のご意見等に直接回答はいたしませんので、予めご了承ください。

- 1 意見募集期間 平成 25 年 1 月 4 日（金）～平成 25 年 2 月 4 日（月）
- 2 提出状況
 - ・提出者数 9 人
 - ・提出件数 29 件
- 3 提出方法
 - ・窓口 1 人
 - ・郵送 1 人
 - ・FAX 2 人
 - ・電子メール 5 人
- 4 寄せられたご意見と市の考え方
 - ・項目別意見数

項目	内容	件数
第 1 章	新津鉄道資料館の概要	0
第 2 章	新津鉄道資料館の見直しの経緯	0
第 3 章	活性化事業の基本的な考え方	1
第 4 章	展示リニューアル	19
第 5 章	施設リニューアル	3
第 6 章	新津駅中サテライト	1
第 7 章	他館とのネットワーク	1
第 8 章	さらなる発信力の強化	4
第 9 章	資料館リニューアルで想定されるスケジュール	0

・ご意見と市の考え方の詳細は 2～5 ページのとおり。

5 結果公表日

平成 25 年 3 月 4 日（月）

6 結果公表場所

意見募集の結果は、市ホームページと下記場所で閲覧することができます（ただし、閉庁日は除きます）。

- ・市政情報室（市役所本館 1 階）
- ・各区役所（設置場所は、地域課へお問い合わせください）
- ・歴史文化課（市役所白山浦庁舎 1 号棟 1 階）

NO	項目	意見要旨	市の考え方	計画修正
1	第3章 活性化事業 の基本的な 考え方	リニューアルの規模や予算を必要最小限にするべきである。	現在の鉄道資料館来場者は約3割が県外から訪れる方々で、新潟市の新たな魅力として県内外に発信していきたいと考えています。事業予算についても充分、検討していきます。	なし
2	第4章 展示リニューアル	SLなどの実車を展示する。	SLC57 19号機の展示を計画しています。	なし
3		E1系新幹線の保存を行ってほしい。	実車展示には経費や展示場所など、多くの課題があります。また、JR車両だけでなく、新潟ゆかりのローカル電車（新潟交通、蒲原鉄道）の実車保存を要望する意見などもあり、どの実車が市や鉄道資料館にとって有効なのかは、今後、関係機関や市民の意見を取り入れる機会を設けながら検討していきます。	なし
4		予定されている200系新幹線、SL以外の実車（現在運行中の115系、485系）を実車展示に加えてほしい。		なし
5		除雪車を展示保存してほしい		なし
6		JR新津駅に保存車両を複数展示する。		新津駅周辺には比較的小型の車両であれば展示できるスペースがありますが、複数は現在のところ考えていません。今後、実車展示が可能かどうかは充分、検討していきます。
7		JR新津駅周辺に200系新幹線を展示する。	新津駅を利用する人たちに「鉄道の街にいつ」を感じていただくには効果的な手法と考えますが、新幹線200系車両は幅約3.4m、全長約25mあります。保管展示には上屋根も必要で、幅、全長以上の建物を建設することになり、新津駅周辺には、現在、新幹線車両の展示と、その上屋根を建設できるスペースがありません。新津駅前には実車で使用された動輪やパンタグラフなどの実車資料の展示を計画しています。	なし
8		鉄道ファンを引き付ける企画・展示の充実を図るべき。	リニューアル後は地元組織や鉄道関係組織との協働による企画展や専門的な展示内容になる特別展を実施する計画にしています。	なし
9		「鉄道のまち新津」や「新潟・新津の歴史」をアニメーションで制作し、紹介する。	鉄道のまち新津の歴史などの紹介は1階入り口付近で計画しています。手法としては写真やグラフィック、実物資料、実物再現などにより、ノスタルジックな雰囲気の中で記憶を呼び起こす展示を目指していきます。	なし

NO	項目	意見要旨	市の考え方	計画修正
10	(第4章 展示リニューアル)	SL ばんえつ物語号の運転席から撮影した地域の映像を制作し、紹介する。	新津鉄道資料館は地域から親しまれ、末永く産業文化の視点を持ち続け、魅力ある施設として全国に発信していきたいと考えています。その中で、地元にはゆかりのあるばんえつ物語号を活用することは、地域の特性や魅力づくりに繋がるものと考えていますが、運転席からの撮影は保安上の課題もあり、実現は困難と考えます。	なし
11		リピーターになりうるファミリー層への対応を十分行うこと。	鉄道資料館に来られる方々には、鉄道愛好家やファミリーなど、目的や楽しみ方が異なっても充実した時間を過ごしていただきたいと考えています。今回、資料館の2階部分を拡張し、「未来の鉄道人育成」としてキッズコーナーや休憩コーナーを設けることを計画しています。	なし
12		トレインシミュレーターを設置する。	幅広い年齢層の方々にも楽しんで頂けるトレインシミュレーターについては資料館の魅力アップにつながるものと考えています。活性化基本計画には「第3章 2. ミッションの実現と事業内容」欄には記載がありますが、展示構成「2-3 電車の仕組みと技術」欄に追加記載します。	あり
13		新潟県内の路線紹介をする。その際、観光、温泉、グルメ、ご当地キャラクターなども併記する。	鉄道資料館は、地元、新潟・新津の魅力を発信するとともに、「鉄道」を産業文化としてとらえ、後世に残す資料を遺産として展示する資料館の機能や役割があります。そのため、沿線の魅力を紹介する観光的な要素が強い企画は常設でなく、企画展などで対応していきたいと考えています。	なし
14		リゾートトレインと沿線地域と一体化された活性化策を紹介する。		なし
15		上越新幹線の果たした役割と、今後の方向を紹介する。	上越新幹線は新潟の経済や人々の交流に大きな役割を果たしてきましたし、これからもかかせない交通手段です。展示構成として新幹線を紹介する計画にしています。また、今後の新幹線の方向性についても紹介したいと考えていますが、資料の収集状況等によって展示構成の変更も有りうることをご理解ください。	なし

NO	項目	意見要旨	市の考え方	計画修正
16	(第4章 展示リニューアル)	廃線コーナーは「どうすれば存続できたか？」を考えてもらう内容にする。	廃止路線には、経済的、人口流出、車社会の到来や生活様式や社会構造などの変化による様々な理由があり、一概に「こうすれば存続できた」という確固たる理由は特定できないように思います。したがって、資料館の展示にはなじまないと考えます。	なし
17		食の魅力「駅弁展示」をする。さらに土日には販売も実施する。	食の魅力「駅弁」については詳細な紹介は企画展などによる対応を考えていますが、展示構成「1-3 新津駅の発展」欄に追加記載します。 また、土日などの販売は今後、実施可能かどうか関係者と検討していきます。	あり
18		雪に関連する資料の展示	新潟という雪国にとって、鉄道の安全・安心な運行を妨げる雪との関係は、克服すべき大きな課題と言えます。在来線や新幹線などでの雪との闘いを紹介するコーナーを設置する計画です。	なし
19		展示写真の入れ替え	今回のリニューアル作業内で実施します	なし
20		イベントスペースを作り活用してほしい	資料館の2階を拡張し、企画・特別展の展示会場にする計画です	なし
21	第5章 施設リニューアル	図書館の分室を併設する。	鉄道資料館のある新津地域学園内には新津図書館が分室として平成18年度まで図書室を開設していましたが、利用者の減少により閉室した経緯があります。新津図書館は平成26年度に改装オープンを予定し、より市民の皆さんへのサービスの向上を図っています。そのため、図書室の設置については今回の資料館リニューアルでは考えていません。	なし
22		売店の設置を	販売に関しては商品開発や金銭の授受も伴うことから慎重に検討していきます。	なし
23		廃車車両を活用した休憩スペースの設置	資料館2階に休憩スペースを計画しており、多額の輸送・管理費用が発生する廃車車両による休憩場所の設置は考えていません。	なし
24	第6章 新津駅中サテライト	JR 新津駅に隣接して「資料館サテライト」を設置する。	新津駅東西自由通路東口建物内に「駅中サテライト」の設置を計画しています。	なし

NO	項目	意見要旨	市の考え方	計画修正
25	第7章 他館とのネットワーク	新津駅東口から資料館へシャトルバスを等間隔で運行する。	新津駅から鉄道資料館への距離が2 km以上あるため、利便性向上のご指摘かと思えます。リニューアル後は既存の路線バスやタクシーなどの交通手段の案内は駅中サテライトを活用し、みなさんにわかりやすい案内に努めるとともに、レンタサイクル事業を新規事業として取り組むことで、交通手段の改善を図る計画にしています。また、資料館でのイベント時にはシャトルバスや秋葉区の文化施設を巡回するバスなどの運行も計画しています。	なし
26	第8章 さらなる発信力の強化 (第8章 さらなる発信力の強化)	「鉄道資料館」というネーミングを再考する。	全国には鉄道関連の展示施設が60館以上運営されています。主に、博物館や資料館、または鉄道館といった名前が多いのが実態です。新津鉄道資料館は今年、開館から30周年の記念の年にあたり、より一層市民や全国の皆さんに親しんでいただきたいと考えています。施設の名称については今後、さらに検討していきます。	なし
27		秋葉区撮影地マップの作成	今後、観光関係組織や鉄道関係組織と協議の際の参考にいたします。	なし
28		昨年実施した車両基地や車両製作所の公開イベントの実施	鉄道関係施設は元来、観光用に一般公開を前提に設置されている施設ではありませんが、一般の方々への公開は、鉄道という魅力ある観光資源として市としても活用させてほしいと考えています。しかしながら、対応されるJR新潟支社等の業務への影響もあることから、同社と十分協議し、安全対策も含めて慎重に判断させていただきます。そのため、ご希望に添えないこともあるかと思いますが、今後も鉄道の魅力を発信するため、関係組織と検討を継続します。	なし
29		来館者への記念カードの配布	今後、検討していきます。	なし